

(作成年月日) 2026 年 4 月 17 日

臨床研究に関する情報

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体および通常の診療で得られる診断名などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和 3 年 3 月 23 日制定、令和 5 年 3 月 27 日一部改正。）に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名]

統合失調症等患者由来リンパ芽球より樹立する人工多能性幹細胞（iPS 細胞）分化神経細胞を用いた電気生理学的解析

[研究の目的]

統合失調症等の脳疾患を持つ患者さんおよび健常者の方から採取した血球系細胞を用いて樹立された iPS 細胞を神経細胞に分化させて、神経細胞のつなぎ目（シナプス）での情報伝達を調べることで、不明な点が多い脳疾患の病態を解明することを目的とします。

[研究の方法]

○対象となる方

国立精神・神経医療研究センター主幹の多機関共同研究「精神疾患データベースの構築・利活用により精神疾患の病態を解明しその障害を支援するための研究（承認番号：B2022-105）」に参加された統合失調症等の脳疾患患者さんおよび健常者の方

○利用する検体・情報

検体：血液から樹立された iPS 細胞

情報：疾患名

○上記検体・情報の利用開始予定日

倫理委員会承認日

[外部への検体・情報の提供]

当機関所持の検体・診療情報等は、当機関から他機関に提供されることはありません。

[外部からの検体・情報の提供]

国立精神・神経医療研究センターで採取された血液を基に、東京農業大学で作製されたヒト iPS 細胞および診療情報を利用します。利用するこれらの検体・診療情報等は、個人が特定できない状態とし、郵送及び電子システムを使用して、東京農業大学より香川大学へ提供されます。

[研究組織]

この研究は、香川大学を主幹機関とする多機関共同研究として実施します。

<研究代表機関及び研究代表者>

香川大学医学部附属病院 臨床研究支援センター 准教授 栗生 俊彦

<共同研究機関およびその機関の研究責任者>

東京農業大学 生命科学部 バイオサイエンス学科 教授 中澤 敬信

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の方の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する個人情報に関しては、お名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

住 所：香川県木田郡三木町池戸 1750-1

施設名：香川大学医学部附属病院臨床研究支援センター

担当者：栗生俊彦

電 話：087-891-2512 FAX： 087-891-2375